

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年12月18日

計画の名称	姫路市における楽しい公園づくり(2)												
計画の期間	令和04年度 ~ 令和08年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	姫路市												
計画の目標	公園・緑地は都市のオープンスペースとして住民の憩いの場、子供の遊び場を提供するとともに、新たな公園整備に伴い魅力ある遊具の設置を進めることにより、大人も子供も訪れたい、遊んで楽しい公園づくりを図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,447	A	1,447	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標(定量的指標)	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値 (R4当初)	中間目標値 (R6末)	最終目標値 (R8末)
1	天満公園、下野公園、糸引公園における公園利用者数を0人/日(R4)から420人/日(R8)に増加させる。 天満公園、下野公園、糸引公園における公園利用者数を計測する。	0人	210人	420人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R04	R05	R06	R07	R08			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	姫路市	直接	姫路市	-	-	都市公園事業(天満公園)	遊戯施設、園路・広場等	姫路市						166	1.7	-
	A12-002	公園	一般	姫路市	直接	姫路市	-	-	都市公園事業(下野公園)	園路・広場等 A = 2.0 ha	姫路市						1,259	1.6	-
	A12-003	公園	一般	姫路市	直接	姫路市	-	-	都市公園事業(系引公園)	遊戯施設等	姫路市						22	4.1	-
											小計						1,447		
											合計						1,447		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04				
配分額 (a)	15				
計画別流用増 減額 (b)	4				
交付額 (c=a+b)	19				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	15				
翌年度繰越額 (f)	4				
うち未契約繰越額 (g)	4				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	21.05				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	計画別流用による受入のため				

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 姫路市における楽しい公園づくり（２）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 関係法令等との適合等 1) 目標が関係法令等の目的と適合している。	○
I. 目標の妥当性 関係法令等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 1) 住民・民間事業者等と連携して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

(参考図面)

